

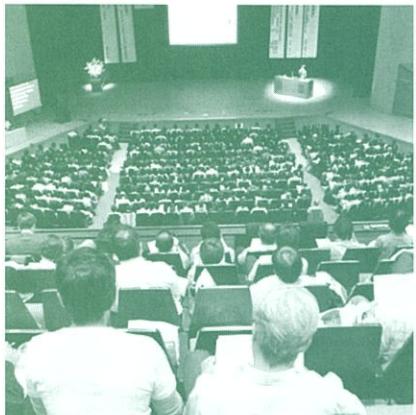
平成27年12月発行

第58号

社会福祉法人 水仙福祉会  
〒533-0004 東淀川区小松1丁目14-12  
TEL 06-6328-3786 Fax 06-6328-3833  
URL <http://www.suisen.or.jp/>

題字 岡村 重夫

# 風の 菊



超満員の会場

## 新たに引き継がなければならない大切なものは 未来に引き継がなければならない大切なものは

高知県知的障害者福祉協会会长  
社会福祉法人昭和会専務理事 山崎 隆

第53回「全国知的障害福祉関係職員研究大会」が、平成27年10月14日から16日の日程で、高知県民文化ホールにおいて開催され、全国各地から1500人の参加をいただきました。

### 根源的なものを掘り下げる

私たちは、この大会を主催するにあたり企画が大切と何度も協議を重ねました。その結果、社会や制度が経済や経営をはじめとし目に見えるも

のが重要として動いているなか、目には見えにくいが大切な「心や人そして福祉」という根源的なものについて、3日間を通して深く考えていただく研究大会にしようと決めました。

### 運営に当たっては、お接待（おもてなし）の心で参加者

に3日間気持ち良く過ごしていただくことと、この大会をスタッフも育ちあえる機会にすること。そのためには大会趣旨の徹底を全職員に行ない、利用者支援に当たっている職員も共に大会を盛り上げようということになりました。

### やりがいと誇り

3日間で最も大切にしたのは、2日目の参加者が加わっての分科会でした。テーマを、「土佐の

六策」（坂本竜馬が新政府に起草したと言われる船中八策

になぞらえ）とし、この六策（育（はぐく）・暮（くらす）・生（いきる）・暮（くらす）・働（はたらく）・老（おいる）・輝（はかがやく））の中の「老」

### 依るべき理念の再確認

今、大会の終わりにいたしましたアンケートや職員で3日間を振り返ると、福祉に携わる職員が依るべき理念を再確認し、未来に引き継ぐ大切なものを発信する機会になったのではないかと思います。八策の残り二策は、大会の成果を持ち帰り実践の中で育てていただきたく、各参加者に託しました。本大会で撒かれた種が、日本各地で必ず花実をつけると信じ筆をおきます。

水仙福祉会 会報 かぜのわ

社会の職員も参加し、充実した時間を過ごすことができました。当法人が毎年開催して

※この研究大会には水仙福祉の支援を共通テーマに、講義

いる発達講座を通じて、昭和会の皆さんと交流がある関係で、特別寄稿をお願いいたしました。